

平成 30 年度ファミリーソーシャルワーク研修会 開催要綱

1. 趣旨

平成 28 年の児童福祉法改正では子どもが権利の主体として明確に位置づけられました。すべての子どもに健全に養育される権利があることを十分ふまえ、子どもが不利益を被ることがないように、より一層の配慮が必要です。

さて、国は平成 30 年 7 月 6 日付で、厚生労働省子ども家庭局長通知「『都道府県社会的養育推進計画（以下、推進計画）』の策定について」を発出しました。既存の都道府県推進計画が全面的に見直され、都道府県はさまざまな取り組みが計画的かつ速やかに進められるよう、2019 年度末までに新たな計画を策定することとなります。また、社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会、その下に設けられたワーキンググループで児童福祉法の理念等を実現していくための社会的養育施策や体制づくりの検討がすすんでいます。

本研修会は、こうした状況を踏まえ、社会的養護関係施設で地域の要保護児童や子育てに関する課題を抱える家庭等の支援に携わる職員等に求められる役割等について研修し、その専門性の向上を図ることを目的として開催します。

2. 主催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3. 共催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

4. 後援（予定）

全国児童心理治療施設協議会、全国児童自立支援施設協議会、
全国自立援助ホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、
全国里親会、日本ファミリーホーム協議会

5. 期日

平成 31 年 1 月 21 日（月）～22 日（火）

6. 会場

TOC有明「コンベンションホール」
〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC有明 4 階
TEL. 03-3494-2177

7. 参加対象

家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、母子支援員、少年指導員、
家族（保護者）支援に携わる児童福祉施設職員、関係機関職員、
里親、ファミリーホーム養育者・補助者 等

8. 参加費：13,000 円（名刺交換会費は含まず）

9. 定 員：400 名

10. 日程・プログラム（予定）

（1）全体日程

〔1月21日（月）〕

12:00～13:00	受付
13:00～13:10	開会
13:10～14:40 (90分)	基調講義 「子育て支援について」 ○親子の愛着形成、心を育てる子育て、思春期の子ども心の理解など、ファミリーソーシャルワーカーが親子に寄り添って子育て支援するために必要なポイントを学びます。 【講師】 渡邊醫院 LIFE DEVELOPMENT CENTER 児童精神科医・副院長 渡辺 久子氏
14:40～15:00	休憩
15:00～17:30 (150分)	シンポジウム 「親子再構築支援～家庭復帰のために～」 ○親子関係の再構築に必要な知識やスキル等について、家庭復帰を中心に、実践例から学びます。 【シンポジスト】 児童養護施設 清浄園 次長 古屋 康博氏 乳児院 赤ちゃんの家さくらんぼ 家庭支援専門相談員 金村 佳生氏 母子生活支援施設 のぞみ 母子支援員 山根 佳菜子氏 子ども家庭支援センター「海北」 センター長 岩城 淳氏 【コメンテーター】 渡辺 久子氏 【進行】 高知聖園天使園 園長 谷本 恭子氏
17:30～17:45	移動・休憩
17:45～19:15	名刺交換会（希望者のみ） ※「(3) 名刺交換会」参照

〔1月22日（火）〕

09:30～12:00 (150分)	テーマ別分科会（午前）
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～15:00 (120分)	テーマ別分科会（午後）

（2）各分科会概要

第1分科会	「ファミリーソーシャルワークの基礎」 ○ファミリーソーシャルワークの基本的な考え方、ワーカーの関わりについて広く学びます。 ○グループワーク等により、家族の理解と家族に対するソーシャルワークの動きの理解を深めます。 【講師】 ルーテル学院大学 教授 福島 喜代子氏
第2分科会	「質の高い里親養育に向けて ～民間フォスティング機関の担い手となるために～」 ○都道府県計画の策定要領とそれに付随するガイドライン等が施設に求めるフォスティング業務などについて学びます。 ○各施設での里親子の支援に関する状況と課題を共有し、より質の高い里親養育に向けてどのような取り組みが必要かを学びます。 【講師】 日本女子大学人間社会福祉学部 教授 林 浩康氏

第3分科会	<p>「家族支援に向けたアセスメント」</p> <p>○家族支援に向けたアセスメントを的確に実施するための視点、実施方法等について学びます。</p> <p>○グループワーク等により、アセスメントに関する課題を共有して、解決策等を意見交換します。</p> <p>【講師】子どもの虹情報研修センター 研究部長 川松 亮氏</p>
第4分科会	<p>「安全・安心な出産と子育てを支える」</p> <p>○おおむね産前6週間、産後8週間の母子への支援を中心に、施設等が地域の保健医療機関をはじめとした生活を支えるさまざまな社会資源と連携・協働し、支援にあたるための実践例やポイント等を学びます。</p> <p>○グループワーク等により、支援に関する状況と課題を共有して、求められる支援について意見交換します。</p> <p>【講師】東洋大学 助教 泉谷 朋子氏</p>
第5分科会	<p>「関わりが難しい親への支援」</p> <p>○虐待やDV、障害など、子育てにおける関わりが難しい親への支援のポイントや工夫等を学びます。</p> <p>○また、家族支援、育児支援に必要なメンタルヘルスについて、理解を深めます。</p> <p>【講師】大阪大学 医学系研究科 保健学専攻 准教授 蔭山 正子氏</p>

(3) 名刺交換会は、希望者のみご参加いただきます（別途参加費 3,240 円を頂戴します）。会場には、サンドウィッチなどの軽食とお飲み物をご用意いたします（立食形式）。なお、参加者は、各自「名刺」をお持ちください（名刺をお持ちでない方は、名刺大の白紙を会場にご用意します）。

11. 申込方法

- (1) 同封の「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターへお申込みください。参加費は後日、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターよりご請求申し上げます。
- (2) 申込締切日以後の参加費の返金はいたしません。資料の送付をもって対応いたします。なお、宿泊・名刺交換会・昼食のキャンセルは、別途記載の所定の取消料をいただきます。
- (3) 分科会は先着順での受付とします。参加希望の分科会は必ずご記入ください。なお、第2希望または第3希望の分科会になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

12. 申込締切

平成30年12月25日（火）

※定員に達し次第、募集を締切ることがあります。あらかじめご了承ください。

13. 受講証明書

本研修の全プログラムを受講した方には、研修終了時に「受講証明書」を発行します。

14. 保険加入のご案内

主催者が参加者全員分の行事用保険加入を申込みます。この保険では、研修参加中および往復途上のケガや賠償責任が保障されます。

15. 記録撮影と取り扱いについて

主催者は、この会の記録として運営の様子を撮影します。撮影した写真は、この会の報告、広報媒体に使用することがあります。

16. 必要な配慮について

手話通訳、要約筆記を希望される方や、車いすを使用されるなど参加にあたり配慮が必要な方は、「参加申込書」の備考欄によりお知らせください。

その他、不明な点やご要望がありましたら、全国社会福祉協議会・児童福祉部まで事前にお問合せください。

〔会場のご案内〕



- りんかい線「国際展示場駅」、ゆりかもめ「有明駅」から徒歩3分
※パナソニックセンター内通り抜け通路利用
- ゆりかもめ「国際展示場正門駅」から徒歩4分

〔参加申込み等お問合せ先〕

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階

TEL. 03-3595-1121 FAX. 03-3595-1119 (担当：波多野、柴田)

〔研修会の運営に関するお問合せ先〕

全国社会福祉協議会・児童福祉部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509 (担当：小林、高橋、星野)

～個人情報の取扱いについて～

本研修会の参加者に係る個人情報は、「個人情報の保護に関する方針(プライバシーポリシー)」に基づき、適切に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。なお、プライバシーポリシーは全社協ホームページに掲載しています。(http://www.shakyo.or.jp/kojin.html)

- (1) 本講座に係る申込受付については、名鉄観光MICEセンターと個人情報の適正な取扱いについて契約を交わしたうえで、同社に業務を委託します。
- (2) 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会に係る企画、参加券等各種資料の送付、参加者名簿の作成・管理等、本研修会事業関連のみの目的で使用し、他の目的で使用することはありません。
- (3) 当日配布資料には参加者氏名、都道府県、施設・職名を記載した名簿を掲載します。